

**製品名: AVP 受容体 V3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07381**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	AVPR1B AVPR3 VPR3
別名	Vasopressin V1b receptor (V1bR;AVPR V1b;AVPR V3;Antidiuretic hormone receptor 1b;Vasopressin V3 receptor)
遺伝子 ID	553.0
SwissProt ID	P47901
免疫原	抗血清はヒト AVPR1B の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

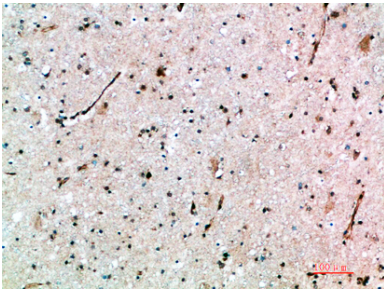
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アルギニンバソプレシンの受容体として作用する。この受容体は、AVPR1A、V2R、OXT 受容体を含む G タンパク質共役受容体のサブファミリーに属する。その活性は、ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャー系を刺激する G タンパク質によって媒介される。この受容体は主に下垂体前葉に局在し、ACTH の放出を刺激する。ACTH 分泌性下垂体腺腫や、異所性 ACTH 症候群の原因となる気管支カルチノイドにおいて高発現している。この遺伝子のスプライスされたアンチセンス転写産物が報告されているが、その機能は不明である。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: アルギニンバソプレシン受容体。この受容体の活性は、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質によって媒介されます。類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、

## 研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;血管平滑筋収縮;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された